



## キャンドルの光に包まれて

しばれる夜の楽しみ方  
 2月8日(土)、占冠・村づくり観光協会主催の『アイスクャンدلナイト占冠 2020』が道の駅自然体感しむかっぷで開催されました。  
 毎年恒例のアイスクャンدلコンテストには、中学生以上の部8組、小学生以下の部7組の応募があり、個性豊かなアイスクャンدلが会場を彩りました。  
 このイベントは、(株)川端組・(株)増山建設・占冠村商工会青年部の皆様方にボランティアとしてご協力をいただいております。  
 お手伝い頂いた皆様、誠にありがとうございます。

## チームで優勝をめざしました

早く、正確に、目標の1枚を求めて  
 1月19日(日)、占冠村コミュニティプラザで子どもカルタ大会が行われました。大会には、18名の子どもが参加。子どもたちは、チーム一丸となって、優勝をめざしました。  
 成績は以下のとおりです(敬称略)。

- 優勝** 低身長 of 僕等【奥田紗帆・石塚 葵・蠣崎蒼空】  
**準優勝** かけちゃん's【八木翔琉・千葉朗磨・鈴木楊生】  
**3位** からくれ【石塚 聖・石坂佑都・伊達充寛】

## 全国大会に出場しました

最速をめざして滑降  
 1月18日(土)に夕張市で開催された『令和元年度北海道中学校大会第52回北海道中学校スキー大会アルペン競技』で全国大会への出場権を獲得した占冠中学校の藤田遥誠さんが、2月6日(木)に長野県で開催された全国中学校スキー大会に出場しました。  
 遥誠さんは、「目標としていた全国大会に出場できて嬉しい。全国大会には上手な選手がたくさんいて自分の世界観が広がった。この経験をこれからの大会等にも生かしていきたい。」と感想を語ってくれました。



## ヒグマに強い地域づくり

ヒグマに関する知識を深め、対応力を高める  
 2月11日(火)、ヒグマに関する知識や対応技術の向上をめざす『ヒグマミーティング』が、地域カフェ『ミナ・トマム』で開催されました。  
 参加者は、クマの体の構造や、性別で異なる習性、クマの活動範囲、ヒグマとの接触を避ける方法、上トマムの現況などクマに関する様々な知識を学びました。ヒグマは、村の豊かな自然環境の象徴ですが、生活への脅威でもあります。全世代が楽しみながら、着実に学ぶ取り組みとして今後の展開が期待されます。

## 献身的な奉仕活動に感謝状

良き相談役としてご活躍いただきました  
 2月10日(月)、民生児童委員として社会福祉の増進に貢献されたとして、大沼八恵子さんと長瀬明美さんの両名に感謝状が贈呈されました。  
 お二方は、長年にわたり、様々な問題や悩みを抱え、手助けを必要とされる方の良き相談役として、献身的な奉仕活動を地域で実践いただき、すべての村民が安心して生き生きと暮らせる地域づくりに、大きな足跡を残されました。

## 豆まきで魔滅を

鬼は外ー！福は内ー！みんなで鬼退治！  
 2月3日(月)、占冠保育所で豆まき会が行われました。  
 鬼(邪気)を追い払うことで1年の無病息災を願う節分。子どもたちは、保育所に現れた鬼に勇敢に立ち向かい、一生懸命に豆をまきました。  
 今年の鬼(邪気)も、元気な子どもたちのおかげで追い払うことができました。来年の鬼も、きっと立派に追い払ってくれることでしょう。